



曲がりくねって、ただいま。
大阪府 豊能町
OSAKA TOONO TOWN

報道資料

令和5年12月14日

小学5年生が発案！ 「豊能 猪(いのしし)すじ肉カレー」 ～12月15日から限定販売スタート～

豊能町立東能勢小学校（校長：高橋弘樹）5年生が豊能町の特産品を使ったお土産のひとつとして「豊能 猪(いのしし)すじ肉カレー」を発案しました。このアイデアを校区内のカレーショップ「cafe LAID-BACK（代表：今井満珠雄、豊能町余野 158-4）」がレトルトカレーとして数量限定で商品化し、児童がラベルのデザインをしました。12月15日から店舗で販売しています。

東能勢小学校の5年生（21人）が、4年生のときに地域のよさを調べたり伝えたりする学習（とよの未来科※）で豊能町の特産品を使ったお土産を考えました。豊能町の特産品である猪肉、山口納豆、なにわの伝統野菜高山ごぼうを使った「猪肉ジャーキー」「納豆巻き」「高山ごぼうチップス」などたくさんのアイデアがでてきました。その中のひとつのアイデアとしてでた「しし肉カレー」が校区内のカレーショップ「cafe LAID-BACK」の製造販売により、レトルトカレーとして数量限定（100個、1,000円）で商品化されました。そして、パッケージのラベルを児童が作成しました。発案した児童は「自分が考えたカレーが売られるなんて、とてもうれしいです」と話しました。

豊能町では冬になると猪の猟が行われ、町内の精肉店で猪肉が特産品として販売されています。猪肉は「ぼたん鍋」の材料として使われ、希少価値が高いことから高級な食材として楽しまれています。

大人向けのスパイシーな「豊能 猪(いのしし)すじ肉カレー」は、12月15日から店舗で販売がスタートしました。今後、豊能町のふるさと寄付金の返礼品としても登録を検討しています。

※「とよの未来科」とは、探究的な見方・考え方を働かせ、具体的な活動や体験、横断的・総合的な学習を行うことを通して、生活の場である身近な地域「とよの」への理解を深め、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えるための資質・能力の育成をめざす学習のことで、「とよの」の教育資源を活用しながら学習し、様々な人々と触れ合う機会や体験を重視した活動を通して、「とよの」と自分に対する自信と誇りの育成をめざしています。



ラベルの「豊能 猪すじ肉カレー」



完成した商品を持つ児童



盛り付けイメージ写真

この件に関するお問い合わせは

◇大阪府豊能町教育委員会 義務教育課 課長：峯（TEL 072-739-3427 直通）

◇大阪府豊能町立東能勢小学校 校長：高橋（TEL072-739-0016 直通）

【写真提供】

ギガファイル便

アドレス : <https://5.gigafile.nu/1227-649f244d85b91bc38ddbffafae01051d>

パスワード : inos